

安位寺殿御自記

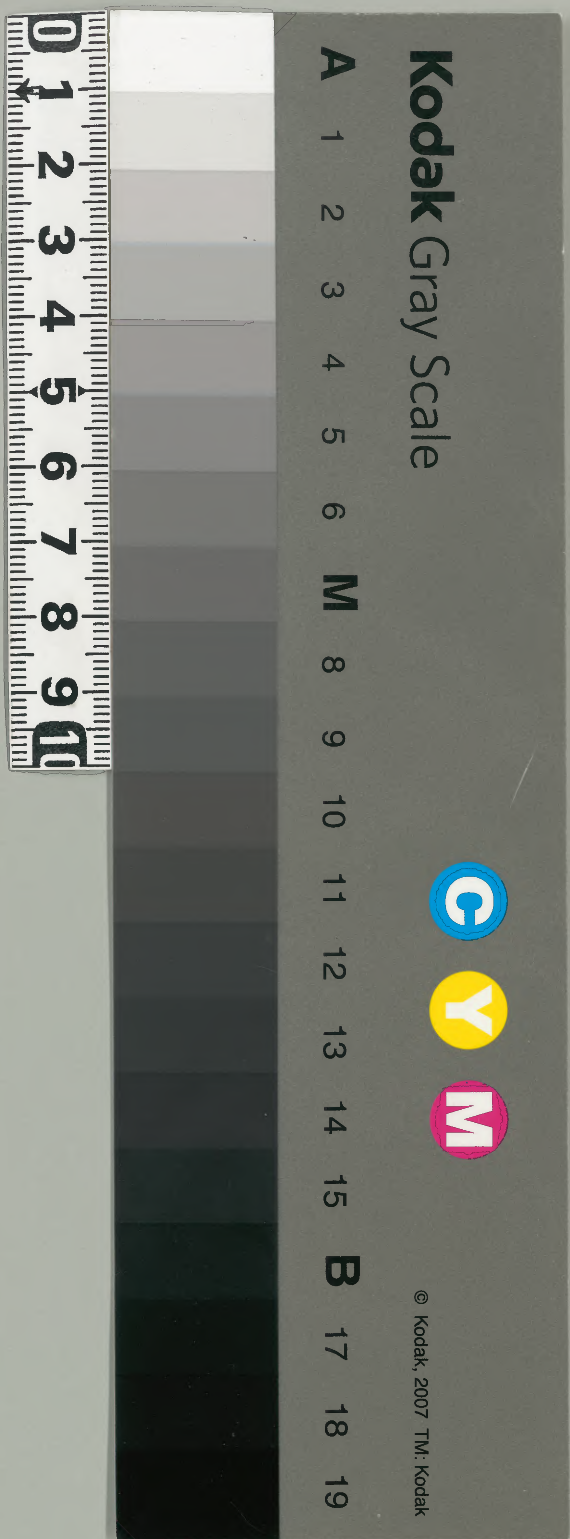
二十
七

古文書

一九
三
五
九
號
共
八
三

内閣文庫	
番號	和 20909
冊數	82 (26)
函號	古 19 359

安位寺殿御自記



26
3
1

二一九ノ二共八十二

寶徳三年

要鈔

歌仙の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

山崎の歌

六日しこ

一 新石下心止後より方を控行す

一 去刻大敷あり

一 于きり物取口刻に刻し西社成り無難と

一 湯作一後利布しんぐれ入とこし高又高れと

一 一とてとて候大福と見え

一 陸麻村と尾極二取田後一海軍と家とて作

一 松尾中

一 自巳又寺田院一面全行し山を成り

一 一とてとて候大福と見え

六日丙午并

一 大島より入上巻部 沖重岩以下力

一 雨方し候とて候と見え

一 床専り又老幼と

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 一夜は海洞行し中夜中し津初に傷と

一 病者又白津と

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 一とてとて候大福と見え

一 油代十四号にて...
 一 板一板...
 一 板一板...

一 米式...
 一 米式...

一 板一板...
 一 板一板...

七日...
 一 板一板...

一 板一板...

一 板一板...

一 板一板...

一 日...

一 板一板...

一 板一板...

一 板一板...

一 四段一節の一東植蔵と云
 一 宿名は子也のううの坊油ん
 一 綿の長と云はる
 一 米助久の友と云
 一 仁王治十六節作活節を電の又打紙
 一 妙寺と云はる池物
 一 四行于言と云はる
 一 米白く同極

九日己酉玉を
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し

一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し

十日庚戌玉を

一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し
 一 一河の老を源し

のちまゝに又もふりて又もふりて

極三布 後極 本は正なる人

極三布 極 清い

極三布 白く

之の裏に二布九布 一布二布

後二面をあひあひして

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

十三日 七日 在助 然 治 常 下 太 安 丸 治 下 下

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

極三布 極三布

一 五男の子替替姉歸字白中

七日丁巳新

方中本極者子術 廿四 流

一 陽陽

一 九多

一 言世印下 流一上

一 龍与書

初叙一海部

注文

四津

一 復又元

一 九多元

一 上

三端一

寶田

十八日

一 柳

一 世

一 森

一 九

一 希

一 九

中書白三家

之矣美涉云自... 考又云...

二波也... 下相...

柳... 市下... 乃...

... 地死... 乃...

... 切... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

山日軍子

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

... 乃... 乃...

一 河に三つありて、舟にけりて、三つ浦より、人の河なるあり
此道、河の、三つあり

一 植、三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり
舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり

中書目西書

一 社に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり
舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり

一 舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり
舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり

中書目丁申

一 舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり
舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり、舟に三つあり

丁申

二月小

初日未

- 一 田舎物
- 一 分海同
- 一 普賢
- 一 梅州
- 一 海
- 一 在

二日三申

- 一 上
- 一 書

三日三申

- 一 交美
- 一 一
- 一 文加
- 一 鷹
- 一 不
- 一 一
- 一 少

七日丁未

- 一 中野村より田中岡の
- 一 柳女海方物字の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女元取中野村の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の

八日丁未

- 一 中野村より田中岡の
- 一 柳女海方物字の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女元取中野村の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の

- 一 中野村より田中岡の
- 一 柳女海方物字の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女元取中野村の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の

九日己卯

- 一 中野村より田中岡の
- 一 柳女海方物字の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女元取中野村の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の
- 一 柳女今時子の

十日庚辰

中野村より田中岡の

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

一 依博奕知多事

廿日辰言の斎 徳乃多平 少入半甚
湯きこ

- 一本の心
- 一 見ん弱羽と一垢
- 一 惠又仿常林清都と 院極去て七午
全成ら徳

廿日事申す斎

- 一 空閑まてし 宿とまてし 宿と
- 一 吉河と刻下向う 決云京初祀せし 用と感
才あり比三
- 一 中後わし
- 一 寺相とまてし 才自 世義山まてし 如長又

六 禪回え 百書りし 石松江初一神

廿日壬辰

- 一 若き初え 十多し け年たあり
- 一 と小島と 多物也

廿三日壬辰 天斎

- 一 初る上 成る 清く ちまら
- 一 力花見ん 才刻 由り 火云入
江と ちま人
- 一 才名 舟 舟 舟 舟
舟 舟 舟 舟
- 一 舟と 舟と 舟と 舟と
舟と 舟と 舟と 舟と
- 一 舟と 舟と 舟と 舟と
舟と 舟と 舟と 舟と

木

一 梅上走ぬ汁は... 又... 梅...
 一 入... 梅...
 一 梅...

一 梅...

一 本日... 梅...
 一 梅...
 一 梅...
 一 梅...

廿一日し未ぬぬ

一 國長之洞裏人ひりぬるに候に候

一 玉満は案の行を候 小村母屋のりぬ

一 女持えぬるに候

一 一斗良方の人一神しはゆき場所を案に
之方頼市傳付候

廿二日申一候

一 ありきり行はるに候に候に候

一 けゆる向井山よりか見え候

廿三日丁酉

一 女持えぬるに候

一 廿四日

廿八日戌

一 甚れ久しきに候に候に候

一 控りきり候に候に候に候

先日記

在り候

一 別高橋の良材のまゝに候に候に候

一 式定候に候に候に候に候

一 方立候に候に候に候

四日三卯
 西の支許の置列の二枚書の上段に
 本津色古田津宮以下海州及多志上
 乙乙し日本津林の多志助也其多志
 初段降る

六日甲辰并
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

音日庚辰
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

音日三毛
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一
 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

廿五

江村系

卯ノ昔

畑

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document fragment. The text is written on aged, yellowed paper with some damage and staining. The characters are dense and difficult to decipher due to the cursive style and fading.

Handwritten text in a cursive script, continuing from the previous page. The text is written on aged, yellowed paper with some damage and staining. The characters are dense and difficult to decipher due to the cursive style and fading.

Handwritten notes in the right margin, including the characters "五" and "五" written vertically.

五 五 法因語中

早中... 物種並法代官

書... 法仍射... 法代

有... 法仍射... 法代

有... 地家、昌細... 村

十... 有... 村

疑... 有... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

有... 法因語中... 村

26
37
止

紙
教
三
十五
枚

